



慶應義塾大学

論理と感性のグローバル研究センター

2021 年度末公開成果報告会

日時:2022年3月3日(木) 13:00~17:30 参加自由

場所:Zoom によるオンライン開催

参加希望の方は下記お問い合わせ先まで、ご氏名、所属先を明記の上ご連絡下さい。

プログラム

13:00 開会

開会の挨拶:倉田敬子(文学部長)

Session I 13:05~14:25

(座長:後藤文子)

● 遺伝と教育グループ

藤澤啓子(文学部)

『幼児教育の質評価に関する現状と課題』

● 生物心理学グループ

伊澤栄一(文学部)

『鳥類における個体間親和関係の形成メカニズム』

● 美学美術史学グループ

山根千明(本センター)

『アードルフ・ヘルツェルの色彩論とその受容例』

● 認知神経科学グループ

辻幸樹(本センター)

『購買頻度を反映する心理生理学的指標の探索:反応抑制に伴う事象関連電位を用いた検討』

Session III 16:15~17:15

(座長:柏端達也)

● 哲学グループ

峯島宏次(文学部)

『論理的不一致の学際的研究』

高橋優太(本センター・お茶の水女子大学)

『論理推論とは何かー証明論的意味論の観点から』

● 感性科学グループ

川畑秀明(文学部)

『感性科学の多分野との連携・融合』

柴玲子(本センター)

『銅鐸の音響学:感性科学と考古学との連携・融合を例に』

● 民族学考古学グループ

山口徹(文学部)

『民族資料にみるカウンター・エスノグラフィとエイジェンシーの活用方法』

Session II 14:40~16:00

(座長:皆川泰代)

● 社会心理学グループ

平石界(文学部)

『心理学における再現性危機の10年』

● 発達科学グループ

蔡林(本センター)

『乳児における非隣接依存文法学習の神経機構とその発達』

● 文化人類学グループ

Gergely Mohacsi(本センター・大阪大学)

『医薬品汚染と草の根からの健康』

● 倫理学グループ

Istvan Zoltan Zardai(文学部)

『AI as Group Agent』

閉会の挨拶 梅田聡(文学部・本センター長)

17:30 閉会

※発表順は変更の可能性があります。
プログラムの最新情報はセンターHPを
ご覧ください



主催:慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター (<http://www.carls.keio.ac.jp/gcarls/>)

お問い合わせ先:本報告会事務局 (e-mail: grcls.contact-group@keio.jp)

Global Research Centre for
Logic and Sensibility